



「組織胎児化による複合的組織再生法の開発」

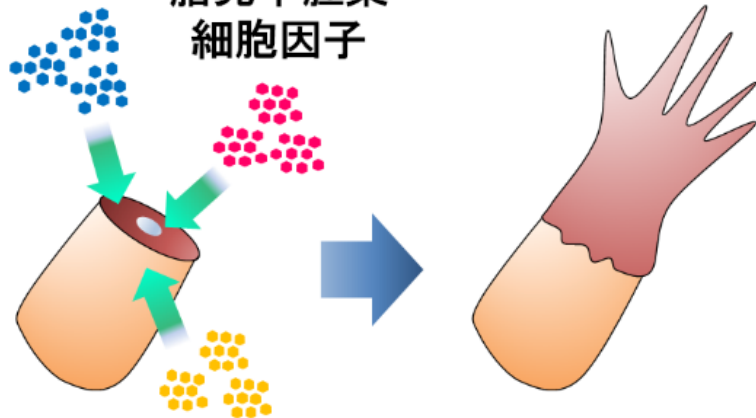
FS

栗田 昌和 PM

(東京大学・講師)

研究プロジェクト概要

本研究では、生体内組織への遺伝子導入によって、成体を構成する複数種の細胞を胎児期の前駆細胞に近い状態に誘導し、広範に欠損した複合的組織・器官の新生、不調・機能不全に陥った組織・器官の回復を図る方法、具体的には「臨床応用が可能な哺乳類の切断四肢を再生する方法、加齢性組織変化を回復する方法」を開発します。

胎児外胚葉
細胞因子胎児中胚葉
細胞因子

胎児環境調整因子

2040年までに期待される

ブレイクスルー

- ・ 欠損四肢を再生する治療的介入法の確立
- ・ 皮膚加齢性変化を回復する治療的介入法の確立
- ・ 筋骨格加齢性変化を回復し、高齢者の運動能力を向上する治療的介入法の確立
- ・ 障がい者・高齢者の自立的な生活機会の拡大によるインクルージョン社会の実現